

主な仕様

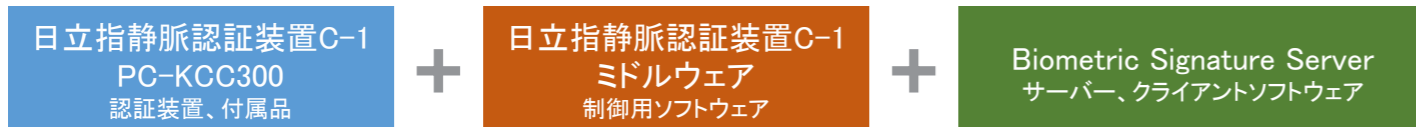
製品名	日立指静脈認証装置 C-1
形名	PC-KCC300
対応OS *1*2	Windows® 10 Enterprise 2016 LTSC Windows® 10 IoT Enterprise 2016 LTSC Windows® 10 Enterprise 2019 LTSC Windows® 10 IoT Enterprise 2019 LTSC
認証データ	サーバー上に保存*3
認証精度*4	本人拒否率(FRR) 0.01% 他人受入率(FAR) 0.000016%
バーコード読取*5	1次元バーコード、QRコード、SQRC
インターフェース*6*7	USB 2.0 Device x1 (High-speed) USB 2.0 Host x1 (High-speed)
表示・スピーカー	状態表示LED搭載 モノラルスピーカー搭載
電源	ACアダプター DC12V 3A USB PD DC9V 3A
外形寸法	約95(W)×134(D)×81(H)mm (ケーブルを除く)
質量	約260g (本体のみ)
主な付属品	USBケーブル、ACアダプター、ACコード

- *1 日本語OSのみに対応しています。
- *2 Microsoft社がサポートを終了したOSへの対応は順次終了します。Microsoft社の各OSのサポート期限については、Microsoft社にお問い合わせください。
- *3 登録可能な最大数は、組み合わせるBSSの登録可能な最大数になります。
- *4 1:1認証での測定値です。バイOMETRICSの精度評価に関する国際規格ISO/IEC 19795-1:2006に基づいた測定方法で算出した精度です。
FRR: False Reject Rate
FAR: False Accept Rate
- *5 すべてのバーコードの読み取りを保証するものではありません。SQRCは、2021年夏サポート予定です。
- *6 本製品は、なるべくPC本体のUSBポートに接続してご使用ください。USBハブを使用する場合は、セルフパワーのハブをご使用ください。本製品が正常に動作しない場合は、USBポートから一度外した後、再接続してください。USB3.0、USB3.1、USB3.2ポートに接続した場合、一部のPCで動作しないことがあります。
- *7 すべてのUSB対応機器の動作を保証するものではありません。USB 2.0 Hostは、2021年夏サポート予定です。

- ・本製品には有寿命部品が使用されています。室温において、1日8時間、1か月25日で使用した場合、本製品の設計上の寿命は5年です。なお、本期間はあくまでも目安であり、故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
- ・本製品は、VCCI基準(一般財団法人 VCCI協会基準)クラスB情報技術装置です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・QRコード、SQRCは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・Wi-Fiは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品構成

本製品を使用するには、日立指静脈認証装置C-1ミドルウェアおよびBiometric Signature Serverが必要です。



PBIソリューション製品ラインナップ



日立カメラ生体認証 SDK for Windows フロントカメラ

PC内蔵カメラ・外付けカメラ*8を用いた指静脈認証ソフトウェア開発ライブラリ

*8 2021年春サポート予定



日立指静脈認証装置 H-1

WindowsサインインなどのITセキュリティや勤怠管理などの本人確認に利用可能なUSB外付け指静脈認証装置

安全に関するご注意	ご使用前に必ず製品マニュアルなどの注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
------------------	--

- カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は印刷されたもので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 製品情報サイト
<https://www.hitachi.co.jp/veinid/>
- インターネットでのお問い合わせ
<https://www.hitachi.co.jp/veinid-inq/>



公開型生体認証基盤(PBI)対応 日立指静脈認証装置 C-1 PC-KCC300

HITACHI
Inspire the Next



かざした指が認証鍵に

国内シェアNo.1*1

非接触型 大規模認証向け 指静脈認証装置

*1 富士経済『2020セキュリティ関連市場の将来展望』調べ (金額ベース)

そして、安心のスタンダードへ
VeinID 日立指静脈認証



指の静脈パターンが PKI*1 認証の「秘密鍵」になる



PBI*2と複数指認証による高い安全性と認証精度により、大規模なユーザー数に対応可能な生体認証システムを実現します。
この生体認証システムにより、手ぶらでのキャッシュレス決済、入退管理、会員管理などに、利便性の高い生体認証を提供します。

*1 PKI:Public Key Infrastructure、公開鍵暗号基盤 *2 PBI:Public Biometric Infrastructure

静脈認証の特長

- 身体の中にある静脈のパターンをデータとして利用するので、本人を識別するためのデータの偽装が難しく、第三者のなりすましが困難です。
- ICカードなどのように、盗難や紛失などの心配がなく、パスワードのように忘れていたりすることがありません。

日立の指静脈認証技術

- 公開型生体認証基盤(PBI)
- 20年間の研究開発・販売実績
- 国内シェアNo.1*3

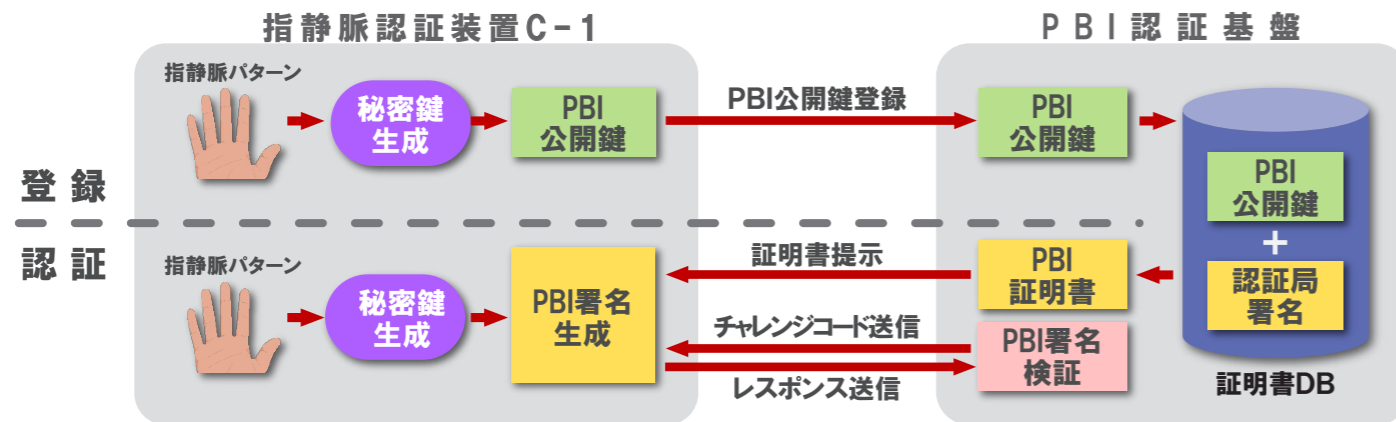
*3 富士経済『2020 セキュリティ関連市場の将来展望』調べ(金額ベース)

日立指静脈認証装置 C-1の特長

● 高い安全性と認証精度

・PBIによる高い安全性

従来のPKIによる認証システムでは、ICカードなどに秘密鍵と電子証明書を鍵情報として格納し、厳重に管理する必要がありました。PBIを用いたシステムでは、指静脈パターンから秘密鍵を生成するため、ユーザーは鍵情報の管理が不要になります。また、サーバーに生体情報を保存せず、PBI公開鍵を保存する仕組みのため、生体情報が漏えいすることがありません。



・複数指による高い認証精度

認証精度*4	本人拒否率 0.01%	他人受入率 0.0000016%
--------	----------------	---------------------

*4 1:1認証での測定値。バイオメトリクスの精度評価に関する国際規格ISO/IEC 19795-1:2006に基づいた測定方法で算出した精度。

● 使いやすいデザイン

- 指を浮かせた状態で認証可能(非接触)
- 状態表示LEDにより、認証成功などの状態を表示可能
- 内蔵スピーカーにより、音声でのガイダンスも可能

● バーコード読み取り機能

- スマートフォンの画面や紙媒体などに印刷されたバーコードに対応
- 読み取り可能なバーコード
CODE39、CODE93、CODE128、JAN、DataBar、ITF
QRコード、SQRC*5*6

*5 SQRCを使用するには、別途、株式会社デンソーウェーブのソフトウェア購入とクラウドサービスの利用契約が必要です。
*6 オプションにて、2021年夏サポート予定



利用事例

決済

スーパーマーケット、コンビニ、駐車場、ガソリンスタンドなどでのキャッシュレス決済



入退管理

店舗、スポーツ・コンサートなどのイベント会場、美術館、アミューズメント施設などでの入退管理



会員管理

スポーツジム、ゴルフ場、ホテル、VIPラウンジ、クラブなどでの会員管理

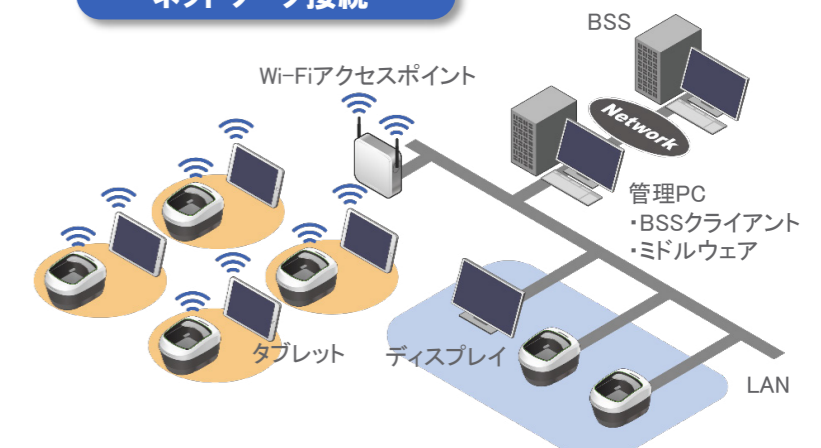


システム構成例

USB接続



ネットワーク接続*8



*7 BSS:Biometric Signature Server *8 ネットワークに接続するには、別売りのUSB-LAN/USB-Wi-Fiアダプターが必要です。(2021年夏サポート予定)

各部詳細

